



上高地 5x7 210^{mm}

「新たな目標」に向かって

鈴木 克彦

『偉大なネイチャー写真に共通することそれは一度見たら忘れられないことだ。そうした写真は、美と驚きと喜びの源泉になり得る。優れた写真には力があり、私たちの自然に対する感じ方や向き合い方を変えてしまうこともある。』<ジオグラフィック誌、写真家デビット・アッテンボローの言葉より>以前に読んでいただいた文章です。何度反復しても飽きない言葉になっていて、我々が目標とするところはかくあるべしと、時に思い起こさせてくれます。

『日本大判写真展』2018展も無事終了しました。2019展に向け、改めて気合いを入れなおして頑張りたいところです。冒頭の言葉では

ありませんが、「一度見たら忘れられない写真とは」さてどう言うモノを言うのか？

箱庭的と言われる日本の風景のなかでは、どきっとする場面になかなか遭遇することは少ないように思いますが、となるとさてどうする？何十年と見慣れてきた風景の中で、それでも何とか押し込んで創り上げてきた景色。ここは手を変え品を変えて、新たな景観を作っていかなければなりません。場所、季節、時間帯、また三脚の上から下からと、さらにアオリを駆使しての独自のフレーム創作？結構忙しくなりそうです。

ただし、時（とき）は待ってくれません。年齢を重ねるうちに時に注意力散漫も、やはりここは気合いですか。

4月研究会の報告

研究会担当 垣内 晃

4月研究会では、「日本大判写真展」2018の反省会をテーマに行いました。反省会での検討事項については、6月に開催します定期総会において、「写真展開催内容に関する議案書」として会員各位の決議を頂く予定です。

写真展のカラー作品の出展に関し、「作品製作費の低減」と「出展後の作品保管スペースの低減」という面から、高田会員より「インクジェットプリントによる作品制作と額装方法」についての説明が行われました。本プリント方法は「デジタルカメラでの作品募集を行う」場合の「作品製作費の低減」を目的としたものですが、4x5等のカラーフィルム作品についても、「フィルムスキャン→デジタルデータ化」を行うことで同様にインクジェットでの作品制作、作品製作費の低減が可能となります。

今回の提案では、「600x900^{mm}の全倍作品を、フォト光沢紙にプリント後、ラミネート加工（プリント面の耐水性向上）、7^{mm}のパネル（スチレンボード）に貼付け加工を行った場合で、約9,500円程度でプリントを製作可能です。

なお、この場合、7^{mm}パネルに貼付け加工したインクジェットプリントは、別途、B1サイズの「全倍プリント用額縁」に入れて展示作品とする必要があり、額縁代等で概算22,000円程度必要となります。故に、初年度は額縁代等を加算すると作品製作費は31,500円となり、仕上がった作品の輸送費等を加算すると、現行の「堀内カラーでの作品制作」と大差ない価格となります。しかし、額縁はパネル加工したプリントを入れ替えて毎年使い廻すので、次年度からは1万円以下で出展作品が製作可能となり、出展済の作品の保管スペースも大幅に減らすことが可能となります。

インクジェットプリントでの作品制作については、出展者夫々に好みの問題もありますので「全てのカラー作品をこの方法で制作する」のではなく、「出展者の選択」とするの

も一案かとの意見が出ました。まずは2019展において参考出展という形で、「会員の希望者が今回提案方法での出展をしてみる」と云うのが良いのでは？との結論となりました。

今後も、カラーの出展作品制作費の低減に関して検討を続けますので、会員各位で良いアイデアがありましたら、事務局宛に提案下さい。

4月モノクロ部会研究会の報告

モノクロ部会 松本 憲治

4月のモノクロ部会では、垣内会員による「カラーネガのプリント制作の評価」を行いました。

暗室作業の経験がある方でしたらご存知かと思いますが、カラープリントの暗室作業では「赤いセーフライト」は使えず、基本、全暗黒の暗室で作業を行うこととなります。また、使用する薬品（発色現像液と漂白定着）は、厳密な温度管理が必須なため、恒温薬液バットを使う必要があります。その他、カラー引伸し機では、マゼンタとイエローのフィルター設定により発色をコントロールする（通常、カラー印画紙に推奨設定の記載あり）必要があるのが、モノクロのプリントと違う点です。

今回の評価の目的は、数種の印画紙が使用可能化の評価と、使用薬品の適否（漂白定着液が古い）の確認が主な評価内容です。

結論から言いますと、漂白定着液が古かったのが原因なのか上手く発色ができない（ほぼモノクロ画像？に仕上がる）ものの、使用した何れの印画紙でも画像は出たので、印画紙としては使用可能との判断となりました。

次回カラープリントの評価を行う場合には、漂白定着液を新液に変えて評価を行う必要があるということで、今回の評価は終了しました。

5月研究会の開催について

研究会担当 垣内 晃

5月研究会を以下の日程で開催致します。会員の皆様、奮ってご参加下さい。

日時：5月19日(土) 13:30~15:30

場所：大阪・南船場 大阪写真会館

4階会議室

内容：

1. 作品投影と講評

5月研究会より、作品投影を再開します。ついでには、1) ポジフィルムのデジタルデータの持参か、2) 原板フィルムを1週間前迄に事務局へ郵送するか、いずれかの方法で、**各自5点までの作品提出**をお願い致します。

2. 連絡事項

【モノクロ部会の研究会日程】

5月モノクロ部の研究会は、5月13日(日) 13:00から『神戸B&W Lab.』にて開催します。(研究会は毎月第2日曜日の開催です)

暗室は9時頃から使用できます。プリント作業を希望される方は、モノクロネガフィルムを持参の上、参加下さい。

大判カメラ体験撮影会

「大阪城撮影会」の案内

撮影会担当 高田 幸二

一般の方を対象とした「大判カメラ体験撮影会」を、下記の日程にて大阪城公園内にて開催を予定しております。つきましては、関西地区会員の方で参加を希望される方は、同封のハガキにて参加申込みをお願い致します。

日時：5月26日 9:30集合

集合場所：JR環状線 大阪城公園駅改札前

撮影場所：大阪城周辺

※当日雨天の場合、翌日に順延

※一般の参加申し込みがない場合は中止

不明な点は、高田(携帯090-8571-6913)宛に電話下さい。

※※ 重要なお知らせ ※※

平成30年度年会費振込のお願い

本部会計 橋本 雅由

事務局 松本 憲治

本年度は年会費改定の予定はございません。つきましては**年会費18,000円**を、振込期限の5月25日(金)までに下記のゆうちょ銀行口座宛に振込みを戴く様、お願い致します。

振込先；ゆうちょ銀行

記号：14440 番号：43090361

(ゆうちょ銀行以外からの振込の場合：

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：四四八

普通口座：4309036

となります)

口座名義：ニホンオオバンシャシンカキョウ
カイ

振込金額：18,000円

振込期限：5月25日(金) 厳守下さい

年会費の振込の完了を以って、平成30年度の会員名簿を確定致します。確定した会員名簿を基に、6月に開催致します定期総会の議案書の郵送を行います。

ついでには、**振込期限までにお振込みされない方へは、定期総会の議案書の郵送ができませんので、振込期限を厳守戴きます様、宜しくお願い致します。**